



平成30年2月27日

各 位

上場会社名 株式会社 ピックルスコーポレーション
 代表者 代表取締役社長 宮本 雅弘
 (コード番号 2925)
 問合せ先責任者 取締役経理財務部長 三品 徹
 (TEL 04-2998-7771)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年2月27日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成29年10月13日に公表した連結業績予想及び平成29年8月22日に公表した個別業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,860	1,393	1,490	969	165.93
今回修正予想(B)	38,196	1,082	1,193	792	135.58
増減額(B-A)	335	△311	△297	△177	
増減率(%)	0.9	△22.4	△20.0	△18.3	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	35,801	780	867	548	105.63

平成30年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,978	1,099	945	161.86
今回修正予想(B)	27,103	872	813	139.18
増減額(B-A)	124	△227	△132	
増減率(%)	0.5	△20.7	△14.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	25,578	659	458	88.36

修正の理由

(連結)

売上高は、ほぼ計画通りに推移いたしました。

しかしながら、昨年10月の台風や長雨、11月以降の低温や降雨不足、今年1月以降の降雪や寒波などの影響により、野菜の生育不良や生育遅れが継続しております。この結果、野菜の出荷量が減少し、野菜全般の価格高騰が継続している状況であります。

この影響により、昨年12月以降、当社グループの主要原料である白菜、胡瓜や大根などの仕入価格が高止まりし、さらに、野菜の生育不良による歩留まり低下も継続しております。商品の販売条件見直しや集約化などの対策を実施いたしましたが、売上原価が予想より増加いたしました。そのため、業績予想の営業利益を確保することが困難となったことから、修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益が減少したことにより、予想の利益を確保することが困難となったことから、修正いたします。

(個別)

個別業績につきましては、連結とほぼ同様の理由であります。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上